

高等学校等多文化理解推進事業【高校への教育支援】  
実施レポート2022

# ちがいを豊かさに

～多文化共生社会“かながわ”に向けた人づくり・地域づくり～



- 多文化理解
- 国際教育の講師を  
**無料**で派遣しました

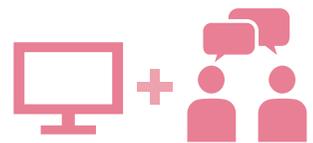
## 実施方法



オンライン



対面



ハイブリッド

講演会やワークショップなど、国際的に活躍する講師・留学生を講師として派遣した授業の2022年度の実施レポートです。是非ご活用ください。



主催

公益財団法人 かながわ国際交流財団

後援

神奈川県教育委員会

一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会

## もくじ

2022（令和4）年度の実施レポート（概要）	3
個別報告（15校分／実施順）	4
● 神奈川県立横須賀高等学校	● 向上高等学校
● 神奈川県立希望ヶ丘高等学校	● 神学校法人シュタイナー学園
● 神奈川県立伊志田高等学校	● 神奈川県立大師高等学校
● 神奈川県立川崎高等学校	● 神奈川県立横須賀南高等学校
● 神奈川県立七里ガ浜高等学校	● 神奈川県立横須賀大津高等学校
● 川崎市立高津高等学校	● 神奈川県立神奈川総合高等学校
● 横浜創学館高等学校	● 神奈川県立麻生高等学校
● 横浜市立桜丘高等学校	
先生方のご感想	34
これまでの実施校一覧	36
これまでのゲストの方々の繋がりのある国・地域一覧	37
講師紹介	38
部活動等へのお手伝い	40

かながわ国際交流財団（KIF）は、「世界に開かれた神奈川、世界と結ぶ神奈川」を目指し、グローバルな視野を持ち、共生社会をつくる人材の育成や、県内における多文化共生の推進などを目的とした事業を展開する神奈川県所管の公益法人です。

そして第3期中期計画（2021－2025年度）の基本目標として「ちがいを豊かさに～多文化共生社会“かながわ”に向けた人づくり・地域づくり」を掲げています。

一人でも多くの青少年が、異なる国の文化や状況について関心を持ち「世界の入口」に立ち、また、多様な文化や言語をもつ人たちと、より密接に関わり共生していけるよう、各種プログラムの企画相談・講師派遣を通じて、高等学校等の国際教育をサポートしています。

# 2022(令和4)年度の実施レポート

- 実施件数 …… 15件 { 公立高校 …… 12校 (内、県立高校 10校)  
私立高校 …… 3校

- 派遣授業に出席した高校生の人数 …… 3271人

- 派遣授業に出席した高校生の学年

(※1つの派遣授業で複数学年が出席する場合があります)

1年 …… 9      2年 …… 7      3年 …… 9

希望者だけ、在県卒など様々な集まりでも実施された。

- 講師・ゲストの方々の繋がりのある国・地域

- イタリア      ● カンボジア      ● 中国      ● ベトナム
- インドネシア      ● ガーナ      ● ドイツ      ● ペルー
- オランダ      ● シリア      ● 日本      ● 香港
- カナダ      ● スイス      ● ネパール      ● ミャンマー
- カメルーン      ● スリランカ      ● バングラデシュ
- 韓国      ● タイ      ● ブルガリア

その他韓国・朝鮮に繋がりのあるゲストにもご講演いただきました。

- 実施方法

対面 …… 12  
オンライン …… 2  
ハイブリッド …… 1

- 実施時期

2022 (令和4)年 5月 …… 2件  
6月 …… 1件  
7月 …… 4件  
9月 …… 2件  
10月 …… 1件  
11月 …… 2件  
12月 …… 3件



# 神奈川県立横須賀高等学校

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 2022（令和4）年5月24日（火）

**実施方法** 対面型

**対象** 1学年 7クラス 279名

**講師** ビオリーナ・ニコローバさん

（マーケティングプランナー・異文化理解講師）

ヨーロッパ数か国に暮らした経験があり、7か国語を操る。15歳で来日、高校、大学を卒業後、日本の大手メーカーで8年間マーケティングに従事。2019年に独立し、現在はマーケティングプランナーとして日本全国の地場産業振興に関わるなど活躍中。



### ねらい

生徒たちにはもっともっと外の世界を知ってもらいたい、人生の選択肢を増やして欲しい、そのような願いから、多様な国際理解探求学習の活動のひとつとして位置づけられた。これからの生き方について考えるきっかけとなることをねらいとしている。

ブルガリア生まれの講師ビオリーナさんの自己紹介が、英語、ブルガリア語、フランス語で行われ、流暢な日本語で講演が始まったときには会場は驚きに包まれました。

「偶然を味方に そして 手触りなコミュニケーション」と題して、どのようにさまざまな言語を習得していったか、ブルガリアと日本の比較、日本に暮らすようになって身につけたコミュニケーション力、高校生へのメッセージなどが語られました。ブルガリアは、西洋とアジアの文化が交差する地域で、多様性へ開かれていることや、さまざまな困難にも柔軟に対応するレジリエンスを持つ国であるということが、ヨーロッパの深い歴史の背景とともに語られました。

また、たった一人で来た日本で、いろいろな人との出会いや助けがありました。その中で、相手の話していることを良く聴くことの大切さ、対話の大切さがビオリーナさんのコミュニケーションの基盤となりました。講演の最後に、人との信頼関係を丁寧に築き、五感を駆使して違い・多様性を受け入れる人になってほしい、そのためには、自分の信念が言語化されていることで、目の前の出会い・偶然に気づき、自分のものにすることができるのだ、というメッセージが伝えられました。

ピオリーナ・ニコローバさん



会場の様子

### 参加した生徒の感想

- 7か国語もしゃべれるのがすごい!と思いました。
- 英語が話せるようになることがゴールなのではなく、英語を使ってコミュニケーションをとることが目的であることに気づきました。
- 様々な国の文化に触れてみることや、怖がらずに思い切って海外の人とコミュニケーションを取ってみることは必ず自分の糧になるのだと感じたので積極的に行動してみたいと思った。
- 持続可能な社会の実現に向けた活動に関心を持った。
- 自分たちと同じ15歳で日本に来たいと思って自分で行動に移して夢を実現させているのがすごいと思いました。

# 向上高等学校

## 留学生との交流・グループワーク

**実施日** 実施日：2022（令和4）年5月30日（月）

**実施方法** 実施方法：ハイブリッド型（対面とオンライン）

**対象** 2学年 12クラス 450名

**講師** 留学生等12名（ベトナム5名、カンボジア5名、韓国2名）

- ベトナム ①グエンドック フィさん、②ブイドユイ ルアンさん  
③グエントユイ クインさん、④ギエムトユイ クインさん  
⑤ヴウ テイトユイさん
- カンボジア ①ヘン シータイさん、②ジム シアンリーさん  
③ハン スレイネットさん、④チョン ソット ソターさん  
⑤オルン チャンボンさん
- 韓国 ①イ ジフンさん、②チェ ギヨンテさん

### ねらい

修学旅行で行く予定だったベトナム、カンボジア、韓国への渡航は、新型コロナウイルス感染拡大によりかなわなかった。そのため、3か国の留学生に、それぞれの国の文化、歴史、生活などについてお話してもらい、留学生との交流を通じて異文化への理解を深める。

前半は、体育館で全員集まり、ベトナム、カンボジア、韓国それぞれの留学生代表より母国の政治、経済、文化、平和学習、観光名所などについてプレゼンテーションが行われました。

後半は、各教室に分かれて、留学生たちが準備したパワーポイントの映像資料などを見ながら、講師の自己紹介や日本での生活、好きなこと、それぞれの国の高校の様子、日本と母国の違い、母国の言語・挨拶の紹介など、多岐にわたるお話を通して楽しく交流することができました。グループディスカッションや活発な質疑応答など、それぞれのクラスで工夫がなされました。



体育館での全体会



韓国グループ 対面で参加



ベトナムグループ 対面で参加



カンボジアグループ オンライン参加

### 参加した生徒の感想

- 日本以外の文化や風習、また、日本語を他の国の人が話しているのを聞いて、日本で当たり前の事が韓国、ベトナム、カンボジアでは違うのだなと、今回の講演会を聞いて思いました。
- それぞれ3カ国の留学生の方々が丁寧にお話ししてくださったことがとても印象に残っています。また日本語は発音がはっきりしていて、表現の仕方も異なってくるので、日本語を話すのは少し難しいのかなと思っていましたが、留学生の方々は物凄く頑張ってお話しされていたなと感じました。
- 聞いたことがある国でも、話を聞かなきゃ知らないことがたくさんあったので、新しいことをたくさん知ることができてよかったです。いい経験になりました。

# 神奈川県立希望ヶ丘高等学校

## 多文化共生社会を生きる

**実施日** 実施日：2022（令和4）年6月15日（水）

**実施方法** 対面型

**対象** 1学年 2クラス 24名

**講師** 矢野デイビッドさん

（ミュージシャン、一般社団法人Enije 代表、明星大学客員講師）

日本人の父とガーナ人の母との間に生まれ、6歳で日本に移住。18歳まで児童養護施設で育つ。明星大学英文科卒業。ガーナのストリートチルドレンとの出会いをきっかけに自立支援団体Enijeを設立。

### ねらい

定時制高校には、多様なバックグラウンドを持つ生徒がいる。日本にいながら外国籍の人との交流が増えていく中で、生活様式の違いやコミュニケーションの取り方の違いなどを学び、共生という価値観に気づいて欲しい。

矢野さんの自己紹介は、ガーナで生まれ、日本に来てからの人生の挫折とそこからどうやって立ち上がっていったか、という長い深いお話から始まりました。過去はpast、未来はfuture、そして現在はpresent、それは贈り物という意味でもある、だから無いものを求めるのではなく、あるものに感謝して、自分と向き合うことが大切だというお話に、生徒たち全員が熱心に耳を傾けていました。

また、映像を交えてガーナに設立した学校とその子どもたちの様子が紹介されました。質疑応答では、「お父さんはなぜ日本からガーナに行ったの?」「これまで一番困ったことは何か?」「悩んだ時、どうしますか?」「日本に来てよかったこと」「日本の子どもとガーナの子どもの違いは?」など、質問が尽きませんでした。

日本の子どもたちは学校で、何が正しくて何が間違っているかを教えられる、ガーナの子どもたちは、まず体験して何が正しいか、何が間違っているかを一人ひとりが学ぶ。正しさはひとつではない。その人が何を正しいと考えるかが大事なんだ、というメッセージが印象的でした。



授業の様子



矢野デイビッドさん

### 参加した生徒の感想

- 今日の授業はあらためて自分自身のことと向き合える時間だったと思いました。
- 多文化のみならず人生に大切なものを分かりやすく言語化してもらえて感動した。内容も自分の人生や考えを肯定されているようで嬉しかった。
- 自分も失敗を恐れず胸を張って立ち上がって生きていきたい。自分もよくつまずき悩むことがあるけれど、今日の講演会を見て、聞いて、今後つまずいたり悩んだりした時には矢野デイビッドさんの言葉を思い出し、悩み事などを突破していこうと思いました！
- Learn and respect people diversity. Learn to be happy on what you had or have, learn how to face your problems and don't give up even how many times you have failed or fail in the future because failing is a part of success, help others even if you don't know them.

# 学校法人シュタイナー学園

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 施日：2022（令和4）年7月15日（金）

**実施方法** 対面型

**対象** 3学年 40名

**講師** ビオリーナ・ニコローバさん（マーケティングプランナー・異文化理解講師）

ヨーロッパ数か国に暮らした経験があり、7か国語を操る。15歳で来日、高校、大学を卒業後、日本の大手メーカーで8年間マーケティングに従事。2019年に独立し、現在はマーケティングプランナーとして日本全国の地場産業振興に関わるなど活躍中。

### ねらい

3年生の英語学習のテーマは、「世界の英語を学ぶ」「社会問題のスピーチを行う」「英文学を読む」となっている。こうしたテーマにせまるために、実際に海外で生活し外国人（マイノリティ）を経験した人の視点を学ぶために、また、生徒にとって自分は何者か、何をすべきか、どこに向かうべきかを考えるきっかけを作ることをねらいとしている。

「コミュニケーションのとらえ方」「暮らしとダイバーシティ」というテーマで、出身のブルガリアと日本での生活体験から具体的なエピソードを交えてのお話でした。お話の途中で質問を投げかける対話形式で、生徒たちも積極的に参加していました。

ダイバーシティという言葉は、最近盛んにメディアでも叫ばれていますが、それは裏を返せば日本がまだまだ多様性後進国だからということ。相手の立場やバックグラウンドに寄り添ったコミュニケーションは、ますます必要な力になっていくということ、共生していく力、そのためのコミュニケーションには「観察する、考える、寄り添う」ことが大切だというメッセージが伝えられました。多様であることはハンデではなく、より自分らしくハッピーに生きるためのきっかけです。

また、社会で多様性を受け入れ尊重する姿勢を示すアピールの方法としてアウェアネス・リボンが紹介されました。リング状に折った短い一片のリボンに色付けをして、社会運動のひとつの表現方法として、さりげなく支援の声明を出す方法です。最後にアウェアネス・リボンに自分の考える活動の意味を表す色を塗って発表しあう「オリジナルなアウェアネス・リボン」を創るワークも行われました。



ビオリーナ・ニコローバさん



会場の様子

### 参加した生徒の感想

- 素晴らしいお話をありがとうございました。お話を聞いていて、海外の出身の方を外国人とひとまとめにすることや、これはこうあるべきというような思い込みがどんどん自分の世界をせまくしてしまっているのだと気づきました。これからもいろんな方向に自分の窓を開き、多様性について考えていきたいです。
- 今まで「多様性を受け入れよう」という事は聞いてきたが、私の中ですごくふんわりした考えしかなかった。今日の話しを聞いて、具体的に理解することができた充実した時間でした。難しい話題から笑える面白い話題まで、幅広い話をして下さったので、印象にも残ったし、なによりも考えるきっかけになりました。
- この講演を聞き、多様性について正解はないということを聞き、考えるのが大切ということに気づきました。
- コミュニケーションに興味がわきました！

# 神奈川県立伊志田高等学校

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 2022（令和4）年7月15日（金）

**実施方法** 対面型

**対象** 全校生徒 808名

**講師** 豊田らまさん（早稲田大学非常勤講師、東洋大学客員研究員）

シリアのダマスカス出身。ダマスカス大学で土木工学を専攻、横浜国立大学大学院で修士号・博士号を取得。高校、大学やカルチャーセンターなどでアラビア語、イスラーム文化理解や在住外国人としてのご自身の経験などを講演形式で発信中。



### ねらい

高校全体として国際理解教育を推進しており、生徒が国際社会で主体的に行動できる資質を育み向上させることをねらいに全校生徒を対象に講演会を企画。

シリア出身の豊田らまさんのお話は、①イスラム教について、②シリアについて（文化、食べ物、言語等）、③シリアの情勢と難民問題という3つのテーマから構成されていました。生徒たちは、事前学習として、シリアの国事情、歴史、内政、イスラム教について書かれた資料を読んでいた。当日は、シリアの写真資料を見ながら具体的な礼拝の様子や人々の生活の様子、さらにはシリアの歴史的建造物や伝統工芸などについてもわかるようなお話でした。普段触れることのないアラビア語を知る機会にもなりました。

前半は、イスラム教やシリアの生活についてざっくばらんなお話で、大会場にも関わらず、講演の合い間で何度か設けられた質疑応答の時間では、たくさんの質問が投げかけられ、活発な雰囲気にも包まれた講演会となりました。

後半は、シリアの歴史と難民問題の現状についてのお話でした。文明の十字路であるシリアは、キリスト教の聖地であるにも関わらず、度重なる戦争や内戦で破壊された跡があります。2011年の内戦では多くの難民が生まれ、いまだに多くの子どもたちが学校に行けずにいます。このような現状を直接知る貴重な機会となりました。



会場の様子

### 参加した生徒の感想

- シリアのことをあまり知らなかったけど歴史や今起こっていることについてよく知ることができた。今私たちは平和に過ごしているけれど紛争に巻き込まれている人々もたくさんいることが分かった。
- シリアのことはニュースでは聞くものの、日本と遠く離れていることもあって実際に起きているという意識をなかなか持てませんでした。シリアの方からお話を聞いて、実感を得ることができました。
- シリアの良いところや美しさ、文化なども丁寧にわかりやすく教えていただく一方、内戦や難民などの深刻な問題や、世界の不平等さについても、詳しく教えていただきました。私は日本で生まれて日本で育ってきたので、空爆や、攻撃されることがありませんでした。しかし、これは普通ではないこと、世界には今でも爆弾を落とされている地域がたくさんあること、このことをよく考え、これからの世界についてよく考えるきっかけにもなりました。
- 先生の「私はシリア人です」という言葉に特別な重みのようなものを感じました。我々が普通に生活している中、それを普通とできない、させてもらえないような国もあるのだと言うことを再認識させていただきました。

# 神奈川県立大師高等学校

## 多文化社会を生きる

**実施日** 2022（令和4）年7月19日（火）

**実施方法** 対面型

**対象** 8名（1年時の在県生徒）

**講師** 佐々木<sup>せいしゅう</sup>聖壘さん（多文化ユースプロジェクト、自治体職員）

中国瀋陽市出身。中学校卒業後に来日。フリースクールに一年間通ったのち、高校、大学へと進学した。横浜市の公務員として勤務する傍ら、外国につながる子どもたちの進路や学習支援を行う「多文化ユースプロジェクト」のメンバーとして活躍中。

### ねらい

在県外国人生徒に向けて、将来の職業選択の動機づけとして、ロールモデルとなる先輩からのアドバイスとしてお話を聞く機会を企画。また、一人ひとりの個性を客観的に把握し望ましい職業選択を行うための参考として実施する一般職業適性検査の通訳も兼ねて実施。

今回は、外国人生徒を対象に、将来の職業選択に向けて具体的なアドバイスを含めた講演と、一般職業適性検査の通訳という2つの役割を同時に担う形の派遣となりました。在県外国人等特別募集枠で入学した外国人生徒にとっては、日本語の聞き取りが難しいため検査の質問が音声で流れる部分について中国語通訳が必要でした。

今回、中国人の生徒が対象だったため、中国出身で日本の高校、大学を卒業し、現在自治体職員として働いている佐々木聖壘さんに講師をお願いしました。高校時代に経験した、日本語と教科の勉強方法とボランティア活動について、さらに大学の選び方や入試の対策など切実な課題についての具体的なアドバイスがありました。

そして、将来の進路を決める時、佐々木さんは、目標を明確にすること、いろいろな人からアドバイスをもらうことを大切にしていたそうです。日本で生活していくうえで、日本語の習得は欠かせないこと、外国人であることのデメリットだけでなくメリットをうまく活用していくこと、そして大きな目標を持って、誇りをもって日本社会で生きて欲しいというメッセージが送られました。



佐々木せいしょうさん



会場の様子

### 参加した生徒の感想

- 今日はお話どうもありがとうございました。
- 謝謝
- 楽しかったです。めっちゃわかったです。ありがとうございました。
- 聖しょうさんに見習って自分ももっとビジネスの勉強を頑張りたい。

# 神奈川県立川崎高等学校

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 2022（令和4）年7月22日（金）

**対象** 対面型

**対象** 2, 3学年 6名

**講師** 星野ルネさん（漫画家、タレント、放送作家等）

アフリカのカメルーン共和国出身。4歳の時に来日、兵庫県姫路市で育つ。放送作家を中心にメディア方面でも個性を生かし活躍中。独特の関西弁のトークと発想力で新鮮な笑いを届け、幅広い層を対象として講演多数。



### ねらい

年間を通じて国際理解・国際交流について学ぶ授業の一環として、講師を招いて多文化理解について学ぶ機会を作る。選択授業のため、特に関心のある生徒が履修しており、将来、海外留学や海外で仕事をしたいと考えている生徒もいるため、進路の参考としたい。

星野ルネさんは、4歳の頃にカメルーンから日本へ移住し、幼い頃から日本で育ったことによって日本とカメルーンという2つの国のアイデンティティを持つことになりました。

その2つが心の中でどのように葛藤し、他者からのさまざまな視線を受けてきたのかというアイデンティティに関わるお話に、生徒たちのみならず先生方も熱心に耳を傾けていました。講演は、「漫画で観察する多様性のある日々」「人は見知らぬ世界に妄想を詰め込む」「多様性の海」「境遇の似た先輩が存在しない件」「世界の学校とお菓子の関係はいろいろだ」「天使のいたずら」などさまざまなトピックでわかりやすく異文化体験が語られました。

トピックごとに質疑応答の時間が設けられ、生徒や先生からの質問や、生徒が自分自身の差別・偏見にかかわる体験などを語り、活発な議論と交流が生まれました。



会場の様子



授業の様子

### 参加した生徒の感想

- 星野先生のように、ひとつの事に縛られずに、自分をしっかり持って生きているところを尊敬しました。将来、国際的な職業に就きたいと思っているので、偏見に流されず、実際に足を運んで感じたことや発見を大切にしていこうと思いました。
- 「会って話すまではどんな人か分からない」というお話がありましたが、自分も友だちと仲良くなる前はすごく緊張してどんな人か分からないから不安だったけど実際話してみると先入観と全然違ったというのを思い出しました。
- 色々なお話が聞けてとても良かったです。多様性を武器にして活動している星野さんはすごいなと思いました。

# 神奈川県立横須賀南高等学校

## 留学生との交流・グループワーク

**実施日** 2022（令和4）年9月9日（金）

**実施方法** 対面型

**対象** 3学年 選択科目「英語会話」6名

**講師** 横浜デザイン学院 留学生 8名

イタリア	① DORSA ANDREAさん、② BAGNO ALESSIOさん、 ③ GIOVANNINI JOELMAさん
タイ	① POOLSUK WONGSAKORNさん、 ② PISITPOKIN SUPANATさん
ドイツ	① STARZEWSKI NINA LUISEさん
日本（ペルー）	① Reika Haradaさん
ミャンマー	① N HKANG ZAU NAWさん

### ねらい

3年生の選択科目「英語会話」の授業をより実践的な内容にするために、留学生と英語での交流を通してさまざまな文化や生活様式の違いを感じ、英語でのコミュニケーション能力の向上をはかる。

少人数の選択科目のクラスだったので、8名の留学生とほぼマンツーマンで交流をすることができ、充実した時間となりました。自己紹介から始まり、アイスブレイクのゲーム（なんでもバスケット、ジェスチャーゲーム）で盛り上がり、休憩時間にお菓子を食べながらおしゃべりをしたあとグループディスカッションを行いました。少しずつ打ち解け、最後にしっかりとディスカッションをするという素晴らしい構成でした。ゲームの途中で先生から、日本と他の国ではどんな違いがあるでしょう?と問いかけがあり、楽しみながら考え、学ぶ機会となりました。

ゲームの司会や交流会の準備などは生徒たちが担当し、ディスカッションでも積極的に話す姿が見られました。留学生の皆さんも、年齢は高校生より少し上ですが一緒にゲームやディスカッションを楽しみ、自分の高校生時代を思い出しながら良い交流ができたと話していました。双方にとって有意義な時間となりました。



留学生の皆さん

### 参加した生徒の感想

- 初めてこういった形で外国の方と交流することができてとてもいい機会になったと思いました。たくさんお話ができて本当に嬉しかったです。日本の事に興味がある方が多くて、たくさん聞いてくれたり、お話を聞けたりととてもいい経験になりました。
- 分からないところは日本語で教えてくれたりとフレンドリーに接してくれて楽しかったです。

# 神奈川県立七里ガ浜高等学校

## 多文化共生社会を生きる

**実施日** 2022（令和4）年9月28日（水）

**実施方法** 対面型

**対象** 29名（1-2学年の姉妹校交流プログラム参加者）

**対象** 崔 英善（チェ ヨンソン）さん  
（韓国語講師、さがみはら国際交流ラウンジ副代表）

2002年に来日。慶應義塾大学院修士課程修了。神奈川県立相模原総合高等学校等の韓国語講師。バイリンガル人材ネットワーク代表。新宿自治創造研究所研究員や藤沢市多文化推進職員等歴任。

### ねらい

韓国の姉妹校とのオンライン交流プログラムの参加者が、事前学習として韓国語と韓国文化について講義を受け、理解を深め、交流への準備とすることを目的としている。

2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で韓国の姉妹校訪問ができなかったため、オンラインでの交流となりました。その準備として、事前学習で韓国語および韓国文化を学ぶ機会として、チェさんを招いて授業を行いました。

韓国語による自己紹介の方法や、韓国の生活文化、高校生の過ごし方など幅広く紹介されました。また、挨拶、自己紹介、簡単な意思表示などの韓国語を学び、2人1組になって練習を行いました。初めての韓国語にも関わらず、積極的に授業を聴きすぐにチェ先生に真似て発音をするたくさんの生徒の姿が見られました。

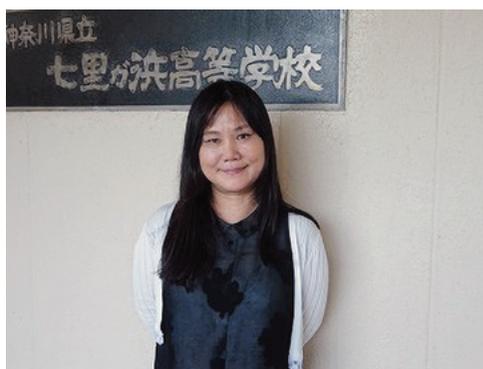
語学だけでなく、韓国では、高校生の大学進学率が8割近いこと、姉妹校の生徒たちの学校は進学校で寮生活のため、夜11時過ぎまで学校に残って勉強をすること、ストレスが多いので美味しい食事や、恋愛の記念日がたくさんあって楽しむ時間を作っていることなど、生活の様子がよくわかるお話に、生徒たちは熱心に聞き入っていました。



授業の様子



ペアになって韓国語の会話練習



講師のチェ ヨンソン氏

### 参加した生徒の感想

- 文化の違いをそのまま捉えるのではなく何故なのか考えると、面白かった。
- 韓国の文化についても教えていただいて、今まで韓国料理に辛い味のものが多くのは韓国人の方の好みだからとしか考えていなかったのですが、寒さの厳しい冬に食べるものとして体の温まる辛い食べ物が増えていったのだと分かってすごく納得しました。韓国の文化にはどんな意味があるのかももっとたくさん知りたいと思いました。
- 韓国語での基本の挨拶を学べて、韓国語で友達とコミュニケーションをとることができて嬉しかったです。
- 初めて韓国人の人に韓国語を教えてもらって、発音とかきいて、日本にはない発音が多くて難しかったけれど、もっと学びたいと思った。

# 神奈川県立横須賀大津高等学校

## 留学生との交流・グループワーク

**実施日** 実施日：2022（令和4）年10月26日（水）

**実施方法** 対面型

**対象** 3学年 9名（英会話クラス）

**講師** 横浜デザイン学院に在籍の英語会話ができる留学生6名

- ①ペルー ZAMALLOA LEONARDO FIORELLA DEL ROSARIO  
（フィオレラ）さん
- ②カナダ DELLA VALLE VERONIQUE（ベロニカ）さん
- ③タイ CHEWPREECHA PAWIN（パウイン）さん
- ④オランダ FLIER DANI（ダニ）さん
- ⑤香港 LI MAN LUNG（リ）さん
- ⑥スイス HODLER BELINDA ZODINI（ベリンダ）さん

### ねらい

留学生と1対1あるいは1対2で、英語をしゃべり続けることを通して、英語に慣れ、英語でのコミュニケーションスキルの向上を目指すとともに、留学生と話すことで相互の文化理解、多文化・多様性に気づく。

英語の上達を目指す高校生たちにとって、留学生と英語で話し続けるという経験は英語学習へのモチベーションを高める経験となったでしょう。

留学生の自己紹介に引き続き、高校生からのウエルカムスピーチ、グループに分かれての英会話セッションは、6回のローテーションで6名の多様なバックグラウンドの留学生全員と話すことができました。最初は緊張していた生徒たちも、会話が進むにつれ笑い声が増え、最後は終わりという先生の声が聞こえてからもしばらく会話が途切れませんでした。最後のディスカッションで、「今年受けた親切なアクションについて」をテーマに話す時間では、「英会話で力を出し切ってしまった」と言う生徒もいました。

留学生の国籍等も多様で、英語がネイティブの人もいれば第二言語である人もいて、英語の多様さに苦労している生徒も見受けられました。実際の社会では、多様な英語が話され、バックグラウンドも多様であり、臨機応変な対応が求められるので、今後の人生においてもこうした経験は生きてくることでしょう。



教室の様子



マンツーマンでの英会話



グループでの英会話



グループでの英会話



留学生

### 参加した生徒の感想

- ネイティブの方と英語で話す機会はなかなかない経験なので、とても楽しかったです。
- 初めての経験だったけど、とても楽しかったです。1対1で話すのも2対1で話すのも緊張したし不安だったけど、それ以上に相手について自分から知ろうとすることができたので貴重な体験でした。またやりたいです。次は日本語での会話もしたいです。

# 川崎市立高津高等学校

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 2022（令和4）年11月10日（木）

**実施方法** 対面型

**対象** 3学年 7クラス 272名

**講師** 柏木実業専門学校の留学生7名

1. SINCHURI RAJAN スインチュリ ラジャンさん（ネパール）
2. NEUPANE KHEM KUMARI ネウパネ ケム クマリさん（ネパール）
3. BOPITI KANKANAMALAGE SAYURI THARAKA GAVESHANI  
ボピティ カンカナマラゲ サユリ タラカ ガヴェシャニさん（スリランカ）
4. RATHNAYAKA MUDIYANSELAGE MIYURANGI ANUPAMA RATHNAYAKA  
ラタナーヤカ ムディヤンセラゲミユウランギ アヌパマ ラタナーヤカさん  
（スリランカ）
5. HA THI HOAI ハー ティ ホアイさん（ベトナム）
6. DIAN NOVITAYANI ディアン ノフィタヤニさん（インドネシア）
7. HOSSAIN SAWON ホサイン サワンさん（バングラデシュ）

### ねらい

総合的な探究の時間「探究を通して、自己の在り方、生き方を問い続ける姿勢を育てる」の一つのプログラムとして、日本と異なる社会背景で育ってきた方々のお話を聞く

7クラス×2コマで、合計14クラス（3年生）で留学生との交流が行われました。留学生による国の文化や衣食住の生活全般について写真を交えてプレゼンテーションが行われました。生徒たちは、事前に留学生への質問を考えて送っていたので、質疑応答のセッションもスムーズに行われました。

クラスによって生徒が司会を行ったり、クイズ形式で行ったりと工夫がなされていました。留学生にとっても、1コマ目は緊張していましたが、2コマ目はリラックスして笑いの絶えない楽しい学びの時間となりました。



ホサイン サランさん  
(バングラデシュ)



ネウパネ ケム クマリさん  
(ネパール)



ディアン ノフィタヤニさん  
(インドネシア)



ポピティ カンカナマラゲ サユリ タ  
ラカ ガヴェシヤニさん (スリランカ)



ラタナーヤカ ムディヤンセラーゲ  
ミュウランギ アヌバマ ラタナーヤ  
カさん (スリランカ)



スインチュリ ラジャンさん  
(ネパール)



ハー ティ ホアイさん  
(ベトナム)

### 参加した生徒の感想

- その国のことを知っているつもりでも、つものままで分からないことがあるなと思いました。違う角度からの見方は面白かったです！ 自分も他の国へ訪問するときは、自分の国のことを紹介できるくらいちゃんと知っておきたいなと思います。
- 留学生の方が日本語がとても上手で驚きました。その国の文化や民族衣装、遊びなどを知って、有意義な時間になりました!!
- 下調べをした上で受けましたが、プレゼンや質疑応答を聞いてネットだけでは得られない良さやルールがわかって面白かったです。
- 国が違えば考えることや習慣の違いから相容れないこともあるかもしれないが、こうして異文化交流を重ねてお互いのことを深く知っていけば、すれ違いも少なくなるかもしれないと思った。

# 神奈川県立総合高等学校

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 2022（令和4）年11月12日（土）

**実施方法** 対面型

**対象** 希望者 9名

**講師** 星野ルネさん（漫画家、タレント、放送作家等）

アフリカのカメルーン共和国出身。4歳の時に来日後、兵庫県姫路市で育つ。放送作家を中心にメディア方面でも個性を活かし活躍中。独特の関西弁のトークと発想力で新鮮な笑いを見出し、幅広い層を対象とした講演多数。

### ねらい

異文化理解ワークショップ。私たちが住んでいる日本にある「多文化」「異文化」への理解を深め、問題や課題に気づき、文化の異なる人と交流することの本質的な意味を考え、生徒がエンパワーされることをねらいとしている。

カメルーン出身の星野さんが、小学校から高校まで日本の学校へ通い、日本人として育つ中で体験したさまざまなことを独自の視点から語りました。

「ことわざは世界共通の文化」というお話の中では、それぞれの国の言い回しはあるものの、伝えたいことは同じであることも多いと紹介されていました。そして2つの国の習慣の違いについて、いかに折り合いを付けていったのかなど、明快な語りを通して、日本人の当たり前を問い直していくお話をしていただきました。星野さんのお話を受け、その後も活発な質疑応答が行われました。



授業の様子



星野ルネさん



### 参加した生徒の感想

- 実体験をもとにした話を聞いてよかった。他の人の立場に立って物事を捉えたり考えたりすることが重要だと思った。異文化というのは、国同士だけでなく国内や地域でも起きることだと思った。
- それぞれの文化を「いいね!」って言いながら認め合えたら、平和だと思う。でも、異文化のぶつかり合いというのはどうしても起きてしまうもので、難しい問題だと思った。新たな発見がたくさんあって面白かった。
- 異文化理解という単語は知っていてもどこか遠くの存在のように思っていました。講演会に参加して異文化理解とはとても身近なものであり、自分の価値観を広げてくれるものだと思います。
- アフリカはほとんど知らなかったが、カメルーンという国を通してアフリカの興味が湧いた。多文化共生の道のりはまだまだ程遠い日本でアフリカ系の人暮らししていくというのは言語的な問題以上に外見から来る偏見や差別に苦しんだのではないかなと思った。

# 横浜創学館高等学校

## 多文化社会を生きる

**実施日** 2022（令和4）年12月1日（木）

**実施方法** 対面型

**対象** 1-3学年 国際英語クラス3クラス 74名

**講師** 矢野デイビッドさん

（ミュージシャン、一般社団法人Enije代表、明星大学客員講師）

ガーナ出身。日本人の父とガーナ人の母との間に生まれ、ガーナで起きた暴動事件の影響により6歳から日本に移住。主な講演テーマは、アイデンティティ、マイノリティ、人種差別、国際交流、異文化共生など。

### ねらい

国際英語クラスの生徒たちが視野を広げるきっかけ作りとなることを目指している。

矢野さんは、日本とガーナの間に生まれたことで幼い頃からさまざまな経験してきました。その生い立ちをもとに発せられるメッセージはとてもあたたかく、励まされるものです。困難な経験も、自分自身と巡り合うための手がかりであり、また、失敗から学んだり、誰にも認められなくてもいいんだ、というお話は、聴く人の心に響くものでした。日本に育った矢野さんにとって、ガーナでの旅行体験や滞在中の経験は、日本の価値観とは全く異なることばかりだったそうです。

また、ガーナと日本を行ったりきたりする中で、ガーナに学校を建てたり、日本からのスタディツアー受け入れも可能な宿泊施設（ホテル）の建設であったり、さまざまなビジネスにも挑戦しているというお話があり、ガーナと日本、それぞれ半々で暮らすようになりたいという思いを語っていました。



矢野デイビットさん



生徒より花束贈呈

### 参加した生徒の感想

- 実際の自身の体験などを教えてくださったり、自分たちに必要なことは何なのかを具体的にお話ししてくださったので、とても楽しい時間になりました。ありがとうございました！
- 色々な経験もされ、その経験をなにかに繋げることはすごいなあと思いました。
- 将来に役に立つ話をたくさん聞いてとても勉強になりました。
- 他の国や場所に行ったら自分が当然だと思うルールや物事がその場所では通用しないことが理解できた。
- ただ支援するだけではその国の人のためにならないことを知った。
- 矢野デイビットさんの今までの経験はとても素晴らしいと感じました。こんなにも色々なことを経験してる人は初めてだったので素敵だなと思いました。

# 神奈川県立麻生高等学校

## グローバルな視野で活躍する人と出会う・ 進路を考えるきっかけをつくる

**実施日** 2022（令和4）年12月14日（水）

**実施方法** オンラインでの実施

**対象** 1-3学年 24クラス 937名

**講師** エソダ・バスネットさん（通訳・翻訳者、国際理解講師）

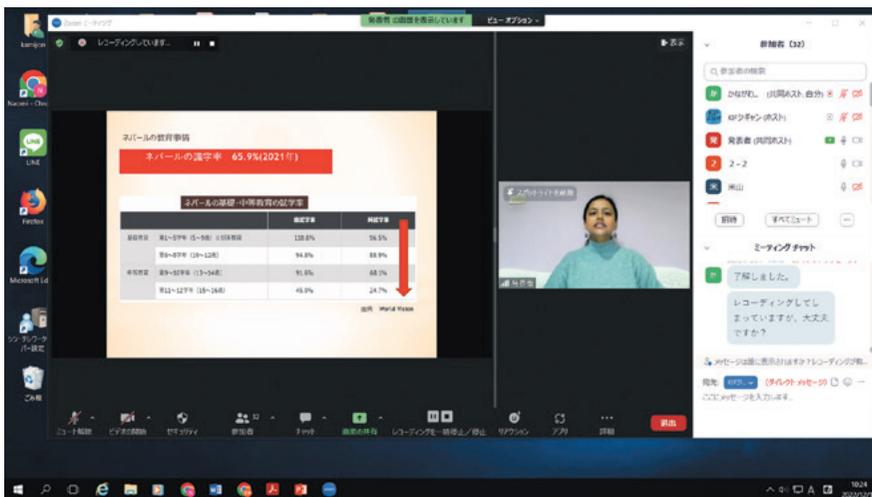
ネパール出身。留学生として2005年来日。横浜国立大学・大学院で国際協力分野の博士課程単位を取得し、その後、国際理解、ジェンダー、キャリア教育や多文化共生などをテーマに高校や大学などにおいて日本語や英語で講演を多数行っている。

### ねらい

国際問題への理解を深め、国際交流を通して国際性の涵養と豊かな人間性・社会性を育むことをねらいとしている。

南アジアに位置するネパールは、標高差（60～8848m）の激しい地形に代表される自然豊かな土地に多数の民族が生活している、多様性に富んだ国です。エソダさんは日本に興味を持ち、高校卒業後、日本に留学しましたが、留学が実現するまでのさまざまなハードルや文化背景、日本に来てから苦労したことなど、実体験に基づいたお話の中に、さまざまな文化の違いによって起こる葛藤や苦労が見られました。

エソダさんは特に教育分野での活動に力を入れており、ネパールの教育事情や小学校を支援する「たまごプロジェクト」についてのお話がありました。現在、通訳・翻訳、国際理解の講師という活動を行う中でたくさんの日本の生徒たちと出会い、エソダさんにとって、今では日本は第二の国となっています。ネパール、そして日本への恩返し、そして学生時代にいろいろなことにチャレンジして「学ぶ」「経験する」ことが大切だというメッセージをいただきました。



エソダ・バスネットさん

### 参加した生徒の感想

- 体験した人にしかわからない苦労や、日本人として日本に暮らしていると気付かない不便な所、暮らしづらいと感じる場面を今回の講演を通して知ることができました。私が今まで常識だと思っていた事も、世界の国々にとっては理解し難い事かもしれないと思いました。これから自分と違う文化を持つ人と交流する機会があったら、その人の国のことを調べて、どういう背景があるのか考え、お互いに理解し合える関係を築きたいです。
- とても面白く、興味深かったです。外国人の方から見た日本留学の体験は、とてもためになりました。
- ネパールについて、よく知らなかったので今回知ることができて嬉しかったです。また、お互いに偏見を持たないで、理解しようとするのが大事だと知ることができました。
- 神奈川県には色々な国の人がいて、その中でも異文化との交流や、セミナーで人との関わりがあることを知った。

# 神奈川県立桜丘高等学校

## 多文化社会を生きる

**実施日** 2022（令和4）年12月22日（木）

**実施方法** 対面型

**対象** 1学年 8クラス 320名

**講師** エソダ・バスネットさん（翻訳・通訳者）

ネパール出身。留学生として2005年来日。横浜国立大学・大学院で国際協力分野の博士課程単位を取得し、その後、国際理解、ジェンダー、キャリア教育や多文化共生などをテーマに高校や大学などにおいて日本語や英語で講演を多数行っている。

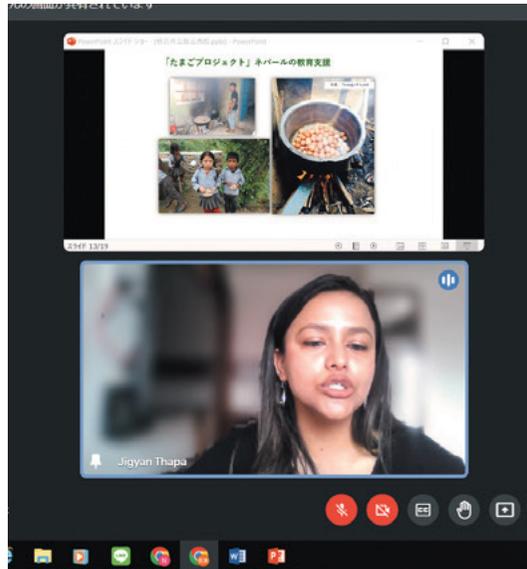
### ねらい

国際交流や多文化理解を進める機会として、外から見た日本の話を通して気づきが得られるようになることを目指している。自分の考えが当たり前ではないということに気付くのは異なる文化に身を置いたときだと思うので、「違い」を楽しむことができるように、視野を広げることが大切である。

自己紹介、ネパールという国についての紹介に続き、ネパールの教育制度とエソダさんがされている支援「たまごプロジェクト」などが紹介されました。日本に来て間もない時に、日本人は英語を話せるという先入観を持って来日したために、英語でコミュニケーションがとれないとわかり、とても戸惑ったそうです。

さらに、ネパール人は誰とでも気軽にコミュニケーションをとる文化を持っているので、異文化に慣れていない日本人の人たちに出会うと、最初は挨拶も返してくれない、私は嫌われているのだ、と思ったそうです。のちのち仲良くなって話すようになると、全くそのようなことはなかったとわかり、まずはお互いに話すことが大切だと改めて思いました。

生徒の皆さんも、臆することなくまずはコミュニケーションをとり、話すことで相互理解が深まって、お互いの文化を理解しあうことができるようになるというメッセージをいただきました。言葉の壁、文化の壁などたくさんハードルはありますが、それを超えるにはコミュニケーションの力も大切だと生徒たちも受け止めたでしょう。



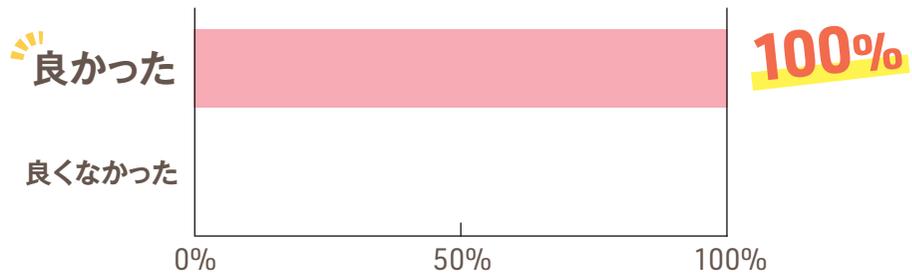
エソダ・バスネットさん

### 参加した生徒の感想

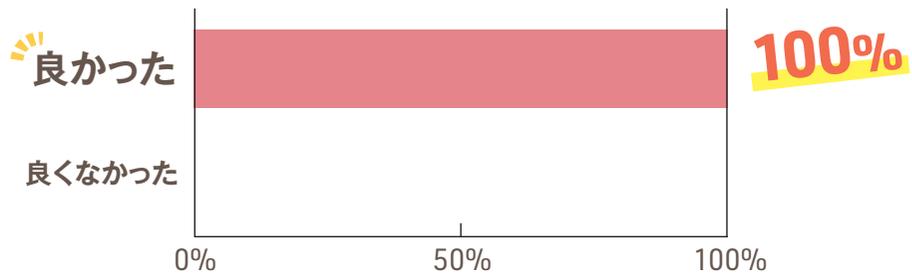
- ネパールと日本の違いをよく知ることができました。講演のキーポイントだった言語の壁、文化の壁、制度の壁という言葉がとても印象に残りました。言語や文化は私たちでも想像できる壁でしたが、制度の壁についてはあまり考えた事が無かったので新しい視点を持つことができました。
- 違う言語で話し、違う文化を持っている人同士の交流はすごく難しいことだし、その世界に飛び込んでいくには相当な勇気が必要だと思いました。留学は楽しそうなどとプラスの印象しか無かったが、その分苦勞も沢山あるのだと具体的な例を知りました。
- 他国で、学校に行けない子供が多いという話は聞いたことがあったが、実際にネパールの話を聞いて、片道3時間かけて通っていたり家事をしなないと行けなかったりという事実には驚いた。
- 私は国際関係の学部を目指しているので大学での生活にも今回のお話を活かしていきたいと思います。

# 先生方のアンケート結果

## Q 事業全体



## Q 講演／ワークショップ



## Q 本事業申込の理由

- 校外のリソースを活用してより充実した内容としたかった …… 13
- 外部から講師を呼びたかったが予算がなかった …… 5
- 国際教育をテーマとした講演／ワークショップを実施した  
かったが、内容・講師についての情報がなかった …… 7

(複数回答可)

## 先生方の感想（一部）

- 講師の先生の実体験を踏まえたお話が生徒の心に深い印象を残したようです。生徒の考えも聞いていただき、とても楽しく自分のこととして講演会に参加できていました。国際理解教育というカテゴリーを超えて、人とのコミュニケーションの在り方、アイデンティティの持ち方といったところまで生徒とともに考える講演会になったと思います。
- スライド、動画、衣装や紙幣の実物を使って、非常にわかりやすい講演でした。生徒たちはこれまで知っている国のイメージとの違いを知る機会となりました。
- おもしろいお話の中に、国際協力で私たちにでもできることや多文化社会を生きることなど、多くのことを考えさせられる時間が過ごせたと思います。
- 日常生活の話から政治等の話までの、柔らかい話から堅い話までいろいろ聞いて勉強になりました。生徒たちも興味を持って聞いていたように思います。
- 留学生の方々が一生懸命準備してくださっており、生徒も真剣に話を聞いていました。また、なかなか日本が他国にどのように思われているか気づけません。今回の機会で自国を第三者目線で考えることが出来たと思います。
- 高校1年生の春の時期は、自分の将来像や自己イメージの土台を作る時期です。そんな中で広い視野から世界や自分を見つめ直すことは重要だと思います。今回の講演は、グローバル化、国際化した世界での異文化理解、コミュニケーションの有り様を知ることを通じて、高校1年生の普遍的で基礎的なニーズにも応える優れた講演でした。
- 申込の段階から事前準備、当日の講演までの打合せや連絡もとてもスムーズで、安心して本番を迎えることができました。自分自身がオンラインでの講演実施を主催したのが初めてでしたので、事前リハーサルをし、とてもスムーズにプログラムを終えることができました。

# これまでの実施校一覧

派遣授業を実施している2009年度から2022年度までの実績

## 県立高校

- 愛川高校
- 麻生高校
- 麻生総合高校
- 厚木高校
- 綾瀬西高校
- 有馬高校
- 伊志田高校
- 磯子高校
- 岩戸高校
- 海老名高校
- 大楠高校
- 小田原高校
- 追浜高校
- 神奈川総合高校
- 神奈川総合産業高校
- 金沢総合高校
- 鎌倉高校
- 上鶴間高校
- 川崎高校
- 川崎北
- 川崎工科高等学校
- 川和高校
- 希望ヶ丘高校
- 久里浜高校
- 港北高校
- 栄高校
- 相模向陽館
- 相模原青陵高校
- 座間総合高校
- 七里ガ浜高校
- 松陽高校
- 城郷高校
- 住吉高校
- 逗葉高校
- 西湘高校
- 瀬谷西高校
- 相武台高校
- 大師高校
- 多摩高校
- 茅ヶ崎高校
- 茅ヶ崎西浜高校
- 津久井高校
- 鶴見総合高校
- 鶴嶺高校
- 永谷高校
- 新羽高校
- 白山高校
- 柏陽高校
- 橋本高校
- 水取沢高校
- ひばりが丘高校
- 平塚江南高校
- 平塚商業高校
- 藤沢総合高校
- 保土ヶ谷高校
- 三浦臨海高校
- 向の岡工業高校
- 元石川高校
- 弥栄高校
- 大和東高校
- 百合丘高校
- 横須賀大津高校
- 横須賀高校
- 横須賀南高校
- 横須賀明光高校
- 横浜旭陵高校
- 横浜国際高校
- 横浜翠嵐高校
- 横浜清陵総合高校
- 横浜立野高校
- 横浜平沼高校
- 横浜緑ヶ丘高校

(全日制、定時制校を含む)

## 横浜市立

- 桜丘高校
- 東高校
- みなと総合高校
- 南高校
- 横浜総合高校

## 川崎市立

- 高津高校
- 橘高校

## 横須賀市立

- 横須賀総合高校

## 私立高校

- アレセア湘南高校
- 神奈川学園高校
- 慶應義塾高校
- 向上高等学校
- 相模女子大学高等部
- シュタイナー学園
- 逗子開成高校
- 自修館中等教育学校
- クラーク記念国際高校  
横浜キャンパス
- 橘学苑高校
- 森村学園高校
- 横浜国際女学院翠陵高校
- 横浜女学院高校
- 横浜翠陵高等学校
- 横浜創学館高校
- 横浜隼人高校
- 横浜雙葉高校
- 横須賀学院高等学校

高校以外では神奈川県高等学校国際教育研究協議会主催のセミナーなどにも派遣した実績があります。

## これまでの講師・ゲストの方々の 繋がりのある国・地域一覧

- イタリア
- イラン
- インドネシア
- ウクライナ
- ウズベキスタン
- エジプト
- オーストラリア
- オランダ
- ガーナ
- カザフスタン
- カタール
- カナダ
- カメルーン
- カンボジア
- コスタリカ
- コロンビア
- コンゴ民主共和国
- シリア
- シンガポール
- スイス
- スウェーデン
- スーダン
- スペイン
- スリランカ
- セネガル
- タイ
- 中国
- デンマーク
- ドイツ
- トルクメニスタン
- ネパール
- ノルウェー
- バングラデシュ
- フィリピン
- フィンランド
- ブラジル
- フランス
- ブルガリア
- ベトナム
- ペルー
- 香港
- マレーシア
- ミャンマー
- メキシコ
- モンゴル
- ルワンダ
- ロシア

その他、台湾、韓国・朝鮮などに繋がりのある方、無国籍の方などもゲストとして高校生にお話ししていただきました。

## 講師紹介

財団で講師をお願いした方々等のインタビュー動画を右のQRコードで読み取り、ご視聴いただけます。講師の派遣にあたっては、下記の方々に限定せず、プログラムの希望を踏まえて候補を探します。HPは「神奈川 高校派遣事業」で検索してください。



1



### 矢野 デイビッド

ミュージシャン、一般社団法人Enije代表、明星大学客員講師

ガーナ出身。日本人の父とガーナ人の母との間に生まれ、ガーナで起きた暴動事件の影響により6歳から日本に移住。主な講演テーマは、アイデンティティ、マイノリティ、人種差別、国際交流、異文化共生など。

2



### エソダ バスネット

翻訳・通訳者、国際理解講師

ネパール出身。留学生として2005年来日。横浜国立大学・大学院で国際協力分野の博士課程単位を取得し、その後、国際理解、ジェンダー、キャリア教育や多文化共生などをテーマに高校や大学などにおいて日本語や英語で講演を多数行っている。

3



### 上條 直美

認定NPO法人開発教育協会(DEAR)理事、生涯学習コーディネーター

大学生時代に国際協力と開発教育に出会い、ライフワークとする。青少年教育や開発教育の分野で仕事、ボランティア活動に長年携わる。開発教育協会では、教材開発やファシリテーター研修などに関わる。

4



### 星野 ルネ

漫画家、タレント、放送作家

アフリカのカメルーン共和国出身。4歳の時に来日後、兵庫県姫路市で育つ。放送作家を中心にメディア方面でも個性を活かし活躍中。独特の関西弁のトークと発想力で新鮮な笑いを見だし、幅広い層を対象とした講演多数。

5



### ビオリーナ ニコローバ

マーケティングプランナー、異文化理解講師

ヨーロッパ数か国に住んだ経験があり7か国語を操る。15歳で来日、高校と大学を卒業。日本の大手メーカーで8年間マーケティングに従事し、2019年に独立。現在は日本全国の地場産業マーケティングプランナーとして活躍中。

6



### 金 成東

ワンダーファイ株式会社 事業開発ディレクター

神奈川県生まれ。神奈川朝鮮中高級学校、横浜国立大学工学部卒。大手総合商社に7年間在籍し、インフラ建設案件に関わり約20ヶ国を訪れる。その後、「違うことが面白い」と思える教育を実践すべく、教育スタートアップにてアプリ開発に関わる。

7



### 豊田 らま

早稲田大学 非常勤講師、  
東洋大学 客員研究員

シリアのダマスカス出身。ダマスカス大学で土木工学を専攻、横浜国立大学大学院で修士号・博士号を取得。高校、大学やカルチャーセンターなどでアラビア語、イスラム文化理解や在住外国人としてのご自身の経験などを講演形式で発信中。

8



### 佐々木 聖壘

多文化ユースプロジェクト、自治体職員

中国瀋陽市出身。中学校卒業後に来日。フリースクールに一年間通ったのち、高校、大学へと進学した。横浜市の公務員として勤務する傍ら、外国につながる子どもたちの進路や学習支援を行う「多文化ユースプロジェクト」のメンバーとして活躍中。

9



### ファミ ティ ビエン テュイ

株式会社 TPRESE 社長

2006年に留学生として初来日。東京工業大学・大学院で経営工学を専攻。修了後日本企業に勤務し、3年後独立。外国人材を企業に紹介する会社を設立し社長に就任。日本とベトナムの架け橋としてベトナムの文化や言葉の理解促進に努めている。

10



### きょうう しょう 喬 禹 翔

大学教員／元全日本中国人留学生学友会副会長 横浜地区会長

中国に生まれ、中学校から日本語を習い始めて大学卒業後、日本の大学院への進学を決意して来日。大学院を卒業後、日本の良さを多くの中国の学生に伝えたいと思い、帰国して大学で教員を務める。現在、中日両国の若者が交流できる場づくりを目指している。

11



### りょ ちょうしん 柳 晴実

NPO法人外国人住まいサポートセンター事務局長／第12期外国籍県民かながわ会議委員

大阪で生まれた在日朝鮮人3世。小・中・高と朝鮮学校で学び、大阪の公立学校で韓国朝鮮につながる児童生徒に韓国朝鮮の言葉や文化を伝える講師として15年間活動。現在は神奈川県NPO団体で外国籍住民のすまいや生活をサポートしている。

12



### オクサーナ・ピスクノーワ

語学講師／ウクライナ避難民支援者

ウクライナ・ドネツク州生まれ。1996年に来日。2014年ロシア軍によるクリミア・ドンバス侵攻後、遠く離れた日本から祖国ウクライナの文化を伝えるため、イベントや講演会などさまざまな活動を行っている。2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻後は、ウクライナの支援に奔走。現在、横浜市を拠点に避難民のサポートに尽力している

13



### はぎわら 萩原 カナナ

カンボジア語(クメール語)通訳者／カンボジア難民出身

内戦による強制労働政権の元で両親を亡くし、幼少期に親族と共に来日。日本で教育を受けた経験を活かし、在日カンボジア人の役などでの行政通訳、技能実習生の通訳、日本語指導協力者としてサポートを行う。カンボジアと日本の架け橋になれるよう奮闘中。

14



### うるしばら ひろし 漆原 比呂志

一般社団法人JLMM 事務局長／NPO法人アルべなんみんセンター 地域連携コーディネーター

神奈川県生まれ。国際協力NGOのJLMMからカンボジアとベトナムに6年間派遣され、現在は事務局長として日本からの支援を行う。2011年から10年間、カトリック東京ボランティアセンターにて東日本大震災の被災者支援にも関わり、現在に至る。

15



### あかさか 赤坂 むつみ

認定NPO法人難民支援協会 渉外チームマネージャー

大学院修了後、日本国際ボランティアセンター(JVC)のラオスにて森林保全担当として村の森を守るための支援活動を行う。帰国後、日本でのシュタイナー教育活動と学校法人化に参加。2014年より現NPOで、難民のための定住支援や政策提言活動を行う。

16



### こばつ 小波津 ホセ

NPO法人日本ペルー共生協会 理事長／生鮮果実輸入商社営業部長

ペルー共和国リマ市生まれ、8歳で初来日。ペルー人父、日系人母を両親にもち、幼少期から異なる空間・文化・言語の中で生活。来日後、日本語習得に苦労しながらも現在では日本のペルー人コミュニティを支援。また、生鮮果実の輸入を通じて日本と中南米社会の発展へ寄与。

国際交流・多文化共生などの  
活動をしている



# 高校生のみなさんの 活動をお手伝いします!

「外国人住民の方とコミュニケーションをとりたい」「地域で活動している多文化共生の団体について知りたい」など、部活で活動するにあたっての情報提供や企画の立案など相談に乗りますので、ご連絡お待ちしております。

高校生などを対象としたセミナー情報については  
こちらからインスタをフォロー!



KIF\_YOUTH

お問い合わせ・お申し込み

## 公益財団法人 かながわ国際交流財団 高校派遣担当

**住所** 〒 221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2  
かながわ県民センター13階 多言語支援センターかながわ内

**電話** 045-620-5045 **E-mail** haken@kifjp.org

**HP** <https://www.kifjp.org/student/highschool>